

「都市冷却理論」で研究 クールアイランド舗装

多治見 マレーシアでの除熱効果報告

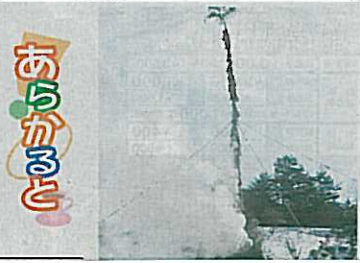
反射率の高い舗装材で太陽光をはね返し、地面の蓄熱を防ぐ「クールアイランド舗装」に関する研究報告会が八日、多治見市東町のセラミックパークMINOであり、国内外の研究者や建設業界関係者ら五十人が、新技術の可能性を探った。



熱帯地域での舗装の効果を紹介するニコラスさん(右)=多治見市東町のセラミックパークMINOで

同舗装は、名古屋工業大元教授の岩尾憲三博士が提唱する「都市冷却理論」に基づく研究。東濃地域の建設会社でつくる「東濃建設業協同組合」(前田重宏理事長)が、同大と共同で開発している。組合は昨年十月、マレーシア工科大とも技術提携。昨年十一月には組合員がマレーシアに実験場を設置し、熱帯地域での除熱効果を検証している。報告会では、その際のデータを実験に携わった現地研究者が発表した。実験結果を論文にまとめたマレーシア工科大の学生ニコラス・アレンソンさんが「スコールなどの影響もあつたが、表面の温度は平均で四・四度下がった」と舗装の効果を紹介。「温度で色が

変わる素材を入れれば、蓄熱をより制御できるのでは」などと舗装材の改良法も提案した。(植木創太)



◇大どんど焼き 恵那市東野の保古の湖の湖畔広場であり、350人が参加した写真。根の上高原まつり実行委員会主催。地元の竹で作った高さ13尺のどんどを設置し、年男が点火。燃え上がる火に会場から歓声が

FM pipi 76.3	
7.00	おはようPipi ニュースワクワ
8.00	おはようPipi ニュースワクワ
9.00	おはようPipi ニュースワクワ
11.30	おはようPipi ニュースワクワ
0.00	おはようPipi ニュースワクワ

FM 聴きどころ
「おはようPipi」の「心の虹」は、耳に入るのは嫌なニュースばかりでない。心に虹をかける！ そんなニュースを紹介【ふるさとPipi】